

## 5-7 景觀

## 5-7 景観

### 5-7-1 供用時（地形の改変後の土地及び施設の存在）

#### (1) 調査

##### 1) 調査手法

###### ① 調査する情報

###### ア 主要な眺望点の概況

供用時（地形の改変後の土地及び施設の存在）に係る主要な眺望点の概況の調査項目は、主要な眺望点の概況と設定した。

###### イ 景観資源の状況（対象事業実施区域内の状況を含む）

供用時（地形の改変後の土地及び施設の存在）に係る景観資源の状況の調査項目は、景観資源の状況と設定した。

###### ウ 主要な眺望景観の状況

供用時（地形の改変後の土地及び施設の存在）に係る主要な眺望景観の状況の調査項目は、主要な眺望景観の状況と設定した。

###### ② 調査の基本的な手法

###### ア 主要な眺望点の概況

###### 7) 資料調査

第2章（2-1-7 景観及び人と自然との触れ合い活動の状況）において整理された対象事業実施区域周辺における不特定多数の人が集まる施設を抽出した。

###### 4) 現地調査

資料調査において整理された眺望点から対象事業実施区域が視認可能か否か、その見え方等を確認し、視認できた地点を主要な眺望点として扱い、その地点の眺望状況を整理した。

###### イ 景観資源の状況（対象事業実施区域内の状況を含む）

###### 7) 資料調査

地形図（1/50,000 図、1/25,000 図）、都市計画白図（1/10,000 図、1/2,500 図）、上越市ホームページから景観資源としての土地利用、河川、池、神社、史跡等を抽出した。

###### ウ 主要な眺望景観の状況

###### 7) 現地調査

「主要な眺望点の概況」の現地調査において抽出された主要な眺望点より写

真撮影を行った。

## 2) 調査地域

新クリーンセンターを識別できると考えられる対象事業実施区域から半径 4 km の範囲を主な調査地域とし、その範囲を図 5-7-1 に示す。

## 3) 調査地点

### ① 主要な眺望点の概況

#### ア 資料調査

主要な眺望点を抽出するため、調査地域内に位置する観光資源に加え、日常的な眺望景観の変化の程度に着目し、公民館等、周辺住民が日常的に利用することが想定される箇所も調査地点として選定した。

#### イ 現地調査

資料調査により抽出された主要な眺望点を調査地点とした。

### ② 景観資源の状況（対象事業実施区域内の状況を含む）

景観資源を整理する調査であるため、調査地域全体を対象とし、特に調査地点は定めないこととした。

### ③ 主要な眺望景観の状況

資料調査により抽出された主要な眺望点を調査地点とした。

## 4) 調査期間等

### ① 主要な眺望点の概況

#### ア 資料調査

新たに眺望点加わる可能性があるため、入手可能な最新の資料を用いた。

#### イ 現地調査

主要な眺望点の概況の現地調査は、表 5-7-1 に示すとおり実施した。

表 5-7-1 調査期間

調査項目	調査期間
眺望点の状況	平成 24 年 7 月 31 日～8 月 1 日

### ② 景観資源の状況（対象事業実施区域内の状況を含む）

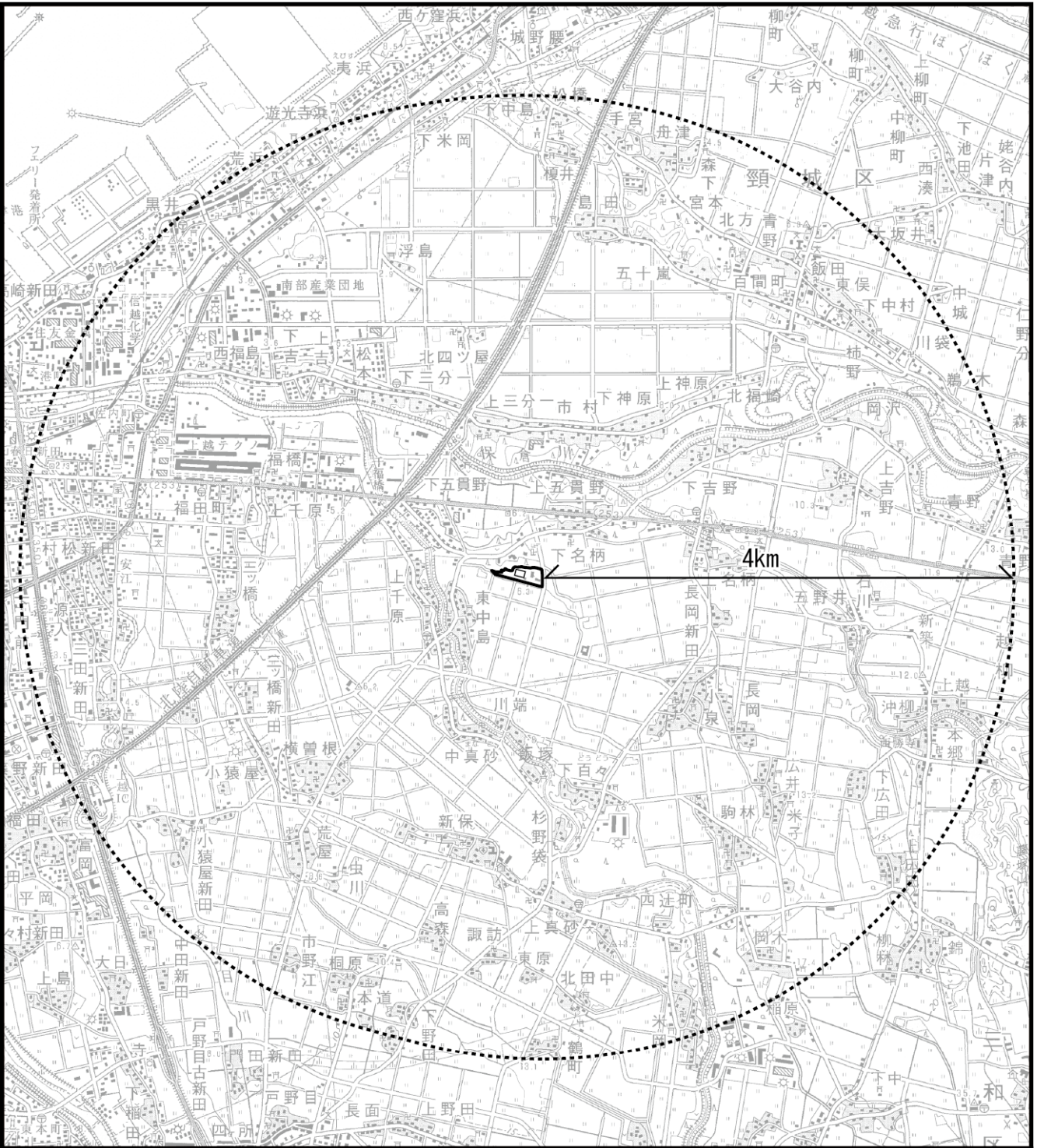
土地利用等が変化する場合があるため、入手可能な最新の資料を用いた。

## ③ 主要な眺望景観の状況

主要な眺望景観の現地調査は、季節による眺望点からの景観の変化に対応するため、表 5-7-2 に示すとおり、春夏秋冬と 4 回実施した。

表 5-7-2 調査期間

調査項目	調査期間
眺望景観	夏季：平成 24 年 7 月 31 日～8 月 1 日 秋季：平成 24 年 10 月 19 日 冬季：平成 25 年 1 月 6 日 春季：平成 25 年 4 月 16 日、23 日



凡 例


 : 対象事業実施区域

図 5-7-1 主な調査地域位置図

